

## 第30回 地域療育講習会

医療福祉相談室 杉森知子

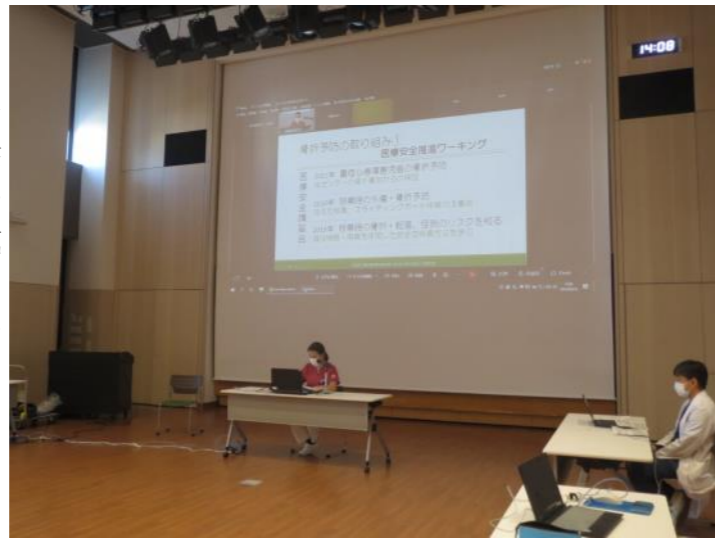


2月25日(金曜日)、第30回地域療育講習会「骨折予防の・こつ・コツ・骨～基本のコツを実行し骨を守る～」が開催されました。

はじめに、専任リスクマネージャーより「府中療育センターにおける骨折、事例報告と骨折予防の取り組み」について発表され、病棟看護師より「重症心身障害児者の骨折後の看護～事例を通して振り返る～」が発表されました。その後、理学療法士より「骨折事例への理学療法士の関わり」で利用者・介助者の負担が少ない安全な移乗やポジショニングの工夫などが発表され、整形外科医長より「重症心身障害児者の骨折～特徴・予防・治療について～」を骨折の発生率や既往、服薬との関係など、専門的分野からの発表がありました。

オンラインでの実施は今回で3回目となりますが、参加者は70名でした。コロナ禍で会場を使用するリハーサルが中止になり、各部屋からオンラインでやりとりをしながらのリハーサルを行うなどして本番に臨みました。

講習会当日は、地域の方々のチャットでの質問もたくさんいただき、その場で応答する場面もありました。後日、「高齢化により骨折リスクも高まり又再発も多いことを知り、愛護的なケアの重要性を改めて感じました。」「超音波治療について知り勉強になりました。」「有意義な研修を受けることができ深く感謝です。」などの感想、意見が寄せられました。地域やご家族と交流しながらより良い支援を目指していくことの大切さを改めて感じました。



〒183-8553  
東京都府中市武蔵台2-9-2  
東京都立府中療育センター  
電話 042(323)5115  
FAX 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧ください\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

# ひだまり

都立府中療育センター新聞 第530号 発行日 令和4年2月28日

## 節分の会

通所 金内潤

鬼は外！福は内！

ということで、通所でも豆まきを行いました。今年は大きな鬼のタペストリー目掛けてボールをあてるゲームと豆まきの二本立てです。タペストリーの鬼は「面の皮」が厚いのか？なかなかボールが当たらず皆さん苦戦！していました。ゲームの後は本物の鬼に向かって豆をぶつけました。こちらは皆さま百発百中！！見事に鬼を追い払えたようです。福は優しく呼び込んだので、今年もいいことが訪れるような気がします。

通所には今年、お二人の年男がいっぱいいます。残念ながら当日はご不在でしたが、皆様にご紹介しています。お二人には「嵐を呼ぶ男」ならぬ「福を呼ぶ男」として、今年の通所を盛り上げていただきたいと思っています。大きな福が皆様に訪れますように。



## お楽しみ会

3D病棟 瀬野由佳

2月3日(木曜日)、節分の日には豆まきを兼ねたお楽しみ会を行いました。2チームに分かれ、ダイルームに吊り下げた赤鬼、青鬼の口やおへそなどの穴をめがけて、小さいペットボトルで作った空気砲で豆に見立てた発砲スチロールの玉を撃って点数を競うゲームを行いました。最初は年女の利用者の方から始め、様子を見ながら控えめに撃っていましたが、後半になると穴の場所によって点数が違ったり、玉についている色で点数が2倍になるなどのルールが解り、どんどん白熱していきました。こわごわ手を出していたり、的をじっと見定めていたり、笑いながら目を閉じていたり、豆まきの雰囲気を感じ、楽しんでいました。



## 1月誕生会 &amp; お楽しみ会

3 A病棟 青柳絵理子

1月のお誕生者は1名でした。受け持ちからのメッセージと、恒例になった、その日のスタッフによるハンドベルで「Happy Birthday to you」の演奏でお祝いをしました。誕生会のお楽しみ会は、「新春すごろく大会」を行ないました。今年の干支の「寅」に因んで、「赤とら」「黄とら」「青とら」の3チームに分け、職員と一緒に棒を持ってサイコロを振り、マスを進めます。途中、マス目には「冬の歌を唄う」「ひっばれ、幸運のひも?!」「福笑い」「かるた」「羽根つき」など、新春らしいお題が次々出てきます。お題のゲームでコマを進めたり、戻ったり、戻ったり(笑)…。

3チームが芽多瀬神社に到着したら、最後は、今年の運試し、大きな大きなおみくじをひきます。どれにしようかな。さあ、結果は？3チーム一斉におみくじを広げ、大吉を引いた「青とらチーム」が上がりとなり、優勝いたしました。誕生者の利用者の方は、いつもは、にぎやかな歓声が苦手で泣き顔になることもありますが、今回は主役の定位置の一番前で泣き顔をみせることなく、落ち着いてゲームに参加されていました。



2022年、最初の「お楽しみ会」は、大いに盛り上がりました。今年も一年、みなさんと楽しい活動をしていきたいと思いません。

## バスハイク

2 A病棟 鹿志村真紀

2月のバスハイクは府中郷土の森へ行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴いバスドライブに変更になりました。2月の府中郷土の森と言えば「梅を見ながら公園内の散策を楽しめる」と思っていたのに残念。また、参加予定メンバー1名が体調不良のため、2名で行くことになり、ちょっと寂しいバスドライブとなってしまいました。

バスドライブ当日はとても良い天気、バスの窓から見える空が真っ青で「気持ち良いね」「空が綺麗だね」と声を掛けると「うふふふ」と笑う声が聞かれていました。

バスから降りられませんが、多摩川沿いの道から府中郷土の森の梅園を眺め、咲き始めている梅の花を少し見ることが出来ました。その後は府中競馬場、府中の森方面にドライブに行き、車窓からの景色を楽しみました。途中、梅の花が咲いていたり、木々から新芽が出ているのを発見し少しずつ春が近づいていることを感じる事が出来ました。次はバスから降りてゆっくりと散策が出来ることを祈るばかりです。

## お楽しみ会

3 C病棟 山田志津子

1月26日(水曜日)にボランティアの方のコンサートを予定していましたが、感染拡大防止対策の為、内容を「鬼作り」のワークショップに変更しました。1月生まれの方へ「ハッピーバースデー」の歌でお祝い、担当看護師からのメッセージを紹介しました。

いよいよ来週に迫った節分に向けての準備です！大きな鬼を皆さんで作成しました。赤鬼・青鬼の頭から作ろう！の呼びかけに皆さん真剣に作り始めました。お花紙を丸め、ペットボトルで作成した空気鉄砲で大きな鬼の顔に目掛けて飛ばしました。きれいにお花紙がピタッと鬼の頭につき、カラフルなモジャモジャ頭が出来上がりました。お花紙を丸める時の感触や空気鉄砲からお花紙が飛び出す時の「ポーン」という音に笑顔や驚いた表情を見せてくれていました。節分の時にはこの鬼たちが大活躍することでしょう。



## お楽しみ会

2 B病棟 福祉職

2月2日(水曜日)、2 B病棟では「節分前日の鬼退治ゲーム」を開催しました。長テーブルに赤鬼と青鬼をそれぞれ10匹ずつ並べてゲームスタート！です。

やわらかいボールを投げる・転がす・ラケットで打つ・棒を使って倒すなど、それぞれの利用者に合った方法で、鬼を倒していくゲームです。各居室が1チームになり、10匹の鬼を倒していき、全部倒れたら、鬼退治成功！！お囃子の音楽の流れる中、職員の声かけや盛り上げに、利用者の方の笑い声や歓声が聞かれました。鬼が倒れていく様子を見ては、身体を揺らしながら楽しんでいる表情もみられました。新型コロナウイルス感染症予防対策で招待観劇は実現出来ませんでしたが、すべての部屋を順番に回り、利用者の方々の笑う声や楽しそうな表情を見ることができました。

鬼退治のあと、「これで2 B病棟には、鬼は来ません！！福の神だけに来てもらいましょう～！」とみんなの笑顔で終わりました。

「笑う門には 福来たる」これからも笑顔で過ごせるようにと、心から願っています。2 B病棟だけでなく、皆さまにも、福の神が訪れますように・・・

